

広陵町男女共同参画 報告書

(国・県との比較)

目 次

1. 比較概要.....	1
(1) 比較目的	1
(2) 比較内容	1
(3) 調査内容・回収結果	1
(4) 結果の見方	3
2. 回答者の属性	4
3. 国や県と広陵町との調査結果の比較.....	7
(1) 仕事・生活について	7
(2) 男女共同参画に関する意識について	12

1. 比較概要

(1) 比較目的

本比較は、町民の男女共同参画に関する意識や実態を国や県にて実施された同様の調査内容と比較することで、広陵町男女共同参画行動計画策定のための基礎資料を得ることを目的としています。

(2) 比較内容

以下のとおり、国や県と広陵町がアンケートで聞いた内容が一致している項目について比較を行っています。

2. 回答者の属性 (P 4)
3. (1) 仕事・生活について (P 7)
3. (2) 男女共同参画に関する意識について

(3) 調査内容・回収結果

1. 広陵町 男女共同参画に関する意識調査

1. 調査対象

広陵町内に在住する満18歳以上の方々2,500名

2. 調査期間

平成29年8月2日(水)～平成29年8月21日(月)

3. 調査方法

郵送調査(郵送配布・郵送回収)

性別	発送数	回収数	うち無効票	有効回答数	有効回収率
全体	2,500	970	1	969	38.8%
男性		410	0	410	
女性		555	0	555	
無回答		5	1	4	

2. 奈良県 平成 26 年度女性の社会参加に関する意識調査

1. 調査対象

奈良県内に在住する満 20 歳以上の方々 3,000 名

2. 調査期間

平成 26 年 5 月 29 日～平成 26 年 6 月 20 日

3. 調査方法

郵送配布・郵送回収

発送数	回収数		有効回答数	有効回収率
	有効回収数	うち無効票		
3,000	1,410	-	1,410	47.0%

3. 内閣府 男女共同参画局 平成 28 年度男女共同参画社会に関する世論調査

1. 調査対象

日本国内に在住する満 18 歳以上の方々 5,000 名

2. 調査期間

平成 28 年 8 月 25 日～平成 28 年 9 月 11 日

3. 調査方法

調査員による個別面接聴取法

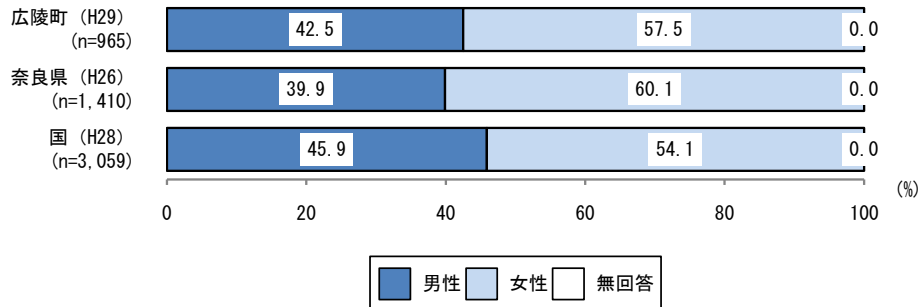
標本数	回収数		有効回答数	有効回収率
	有効回収数	調査不能数		
5,000	3,059	1,941	3,059	61.2%

(4) 結果の見方

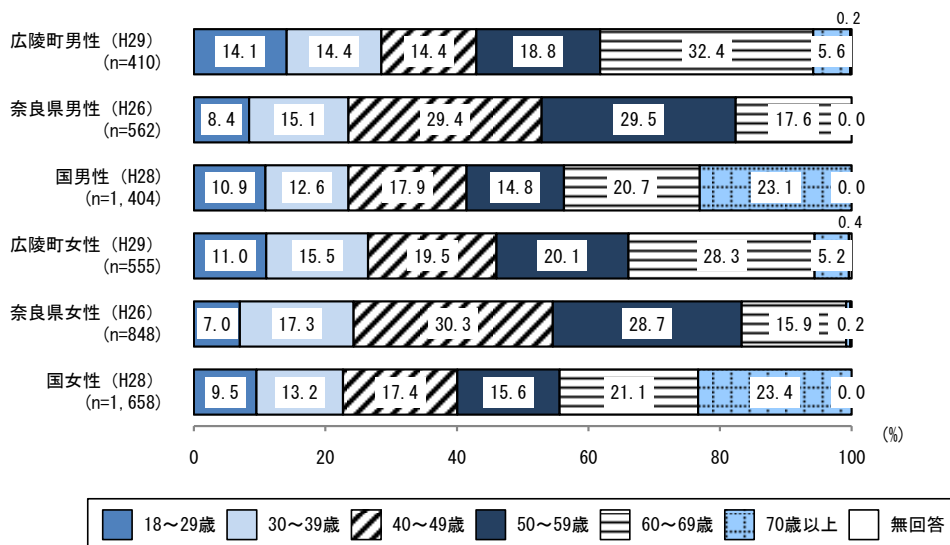
1. 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を上回る。なお、本文中、表やグラフに「MA（MAはMultiple Answerの略）%」という表示がある場合は、複数回答を依頼した質問である。また、「3LA（3 Limited Answerの略）%」や「2LA」という表示がある場合は、回答選択肢の中からあてはまるものを3つまで、あるいは2つまでの回答を依頼した質問である。
3. 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記している場合がある。
4. 回答者数（n）が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになる。
5. グラフにおいて、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
6. 比較する選択肢はすべて広陵町男女共同参画に関する意識調査のものを基準としているため、他の調査結果によっては広陵町男女共同参画に関する意識調査の選択肢に該当しない選択肢が存在する場合がある。その場合は比率の合計が100.0%以下になる。

2. 回答者の属性

問1 あなたの性別は、どちらですか。(〇はひとつ)

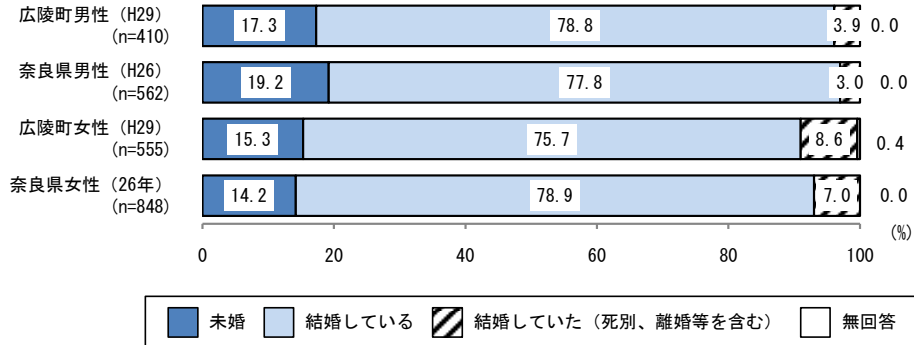


問2 あなたの年齢は、おいくつですか。(〇はひとつ)



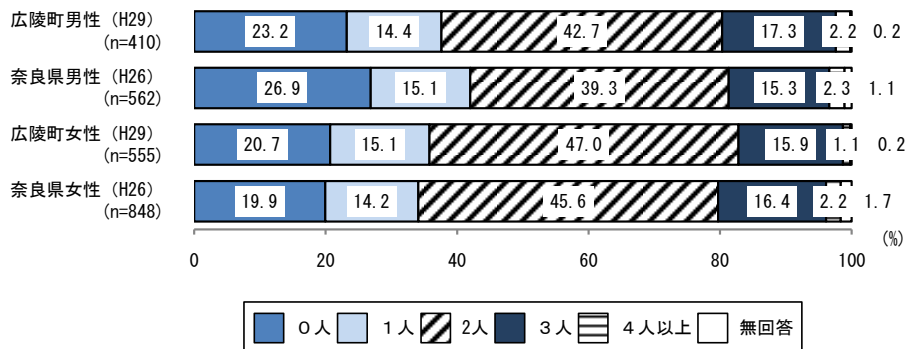
問5 あなたは、結婚（事実婚を含む）していますか。（○はひとつ）

※奈良県との比較



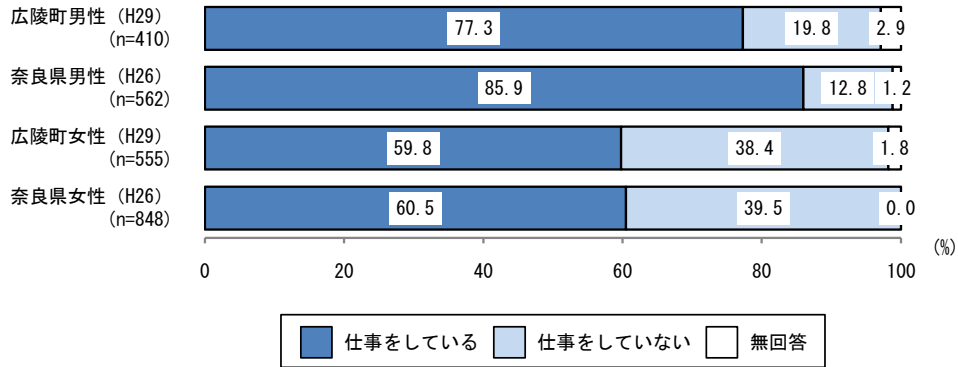
問7 あなたは、お子さんが何人いますか（別居を含む）。（○はひとつ）

※奈良県との比較



問8 あなたは、収入を得る仕事をしていますか（パート、アルバイト等を含む）。
（どちらかに○）

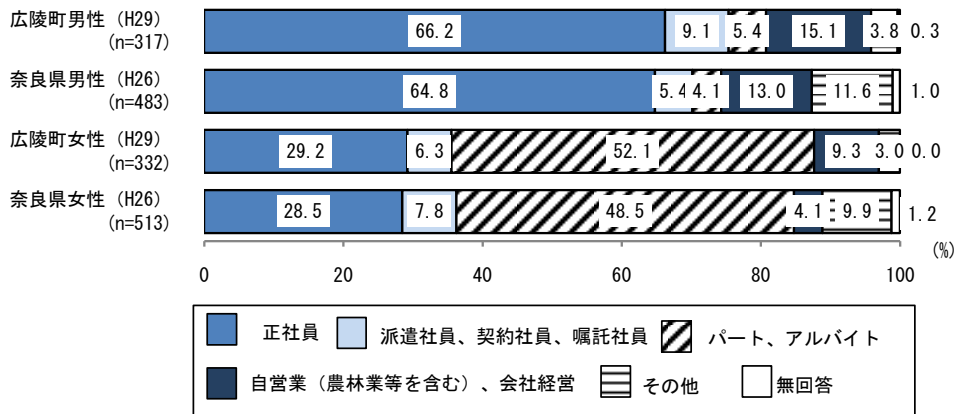
※奈良県との比較



問8で「1. 仕事をしている」と回答した方にお聞きします。

問8-1 それは、どのような雇用形態ですか。（○はひとつ）

※奈良県との比較



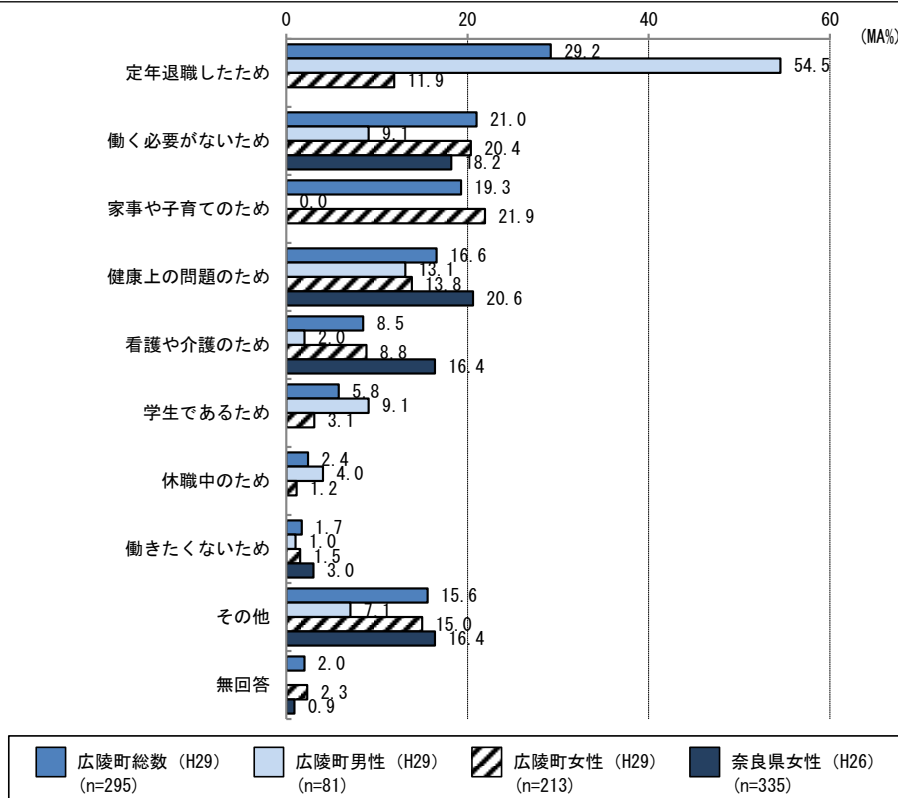
3. 国や県と広陵町との調査結果の比較

(1) 仕事・生活について

問 11 あなたが、仕事をしていないのはどうしてですか。(〇はいくつでも)

※奈良県との比較

- ・広陵町全体では「定年退職をしたため」の割合が最も高くなっている。これは回答者の割合が、男性の60代以上で38.0%を占め、女性の60代以上で33.5%を占めることからこの回答の割合が多くなっているといえる。
- ・性別で見ると広陵町内では、女性、男性ともに「定年退職をしたため」の割合が最も高いが、「働く必要がないため」「家事や子育てのため」「看護や介護のため」では男性よりも女性の方が、割合が高く、専業主婦層の存在（約4割が仕事をしていない）や、根強い固定的性別役割分担意識があることがうかがえる。奈良県女性との比較では、「看護や介護のため」と「健康上の問題のため」の割合の差が大きい。奈良県女性の回答者の年代を確認すると、自身や配偶者の親の看護や介護をする年代にあたる「40～49歳」「50～59歳」の割合が広陵町女性と比較して高いことが少なからず影響しているものと考えられる。



※奈良県の調査は男性には本項目を質問していないため、比較対象から外している。

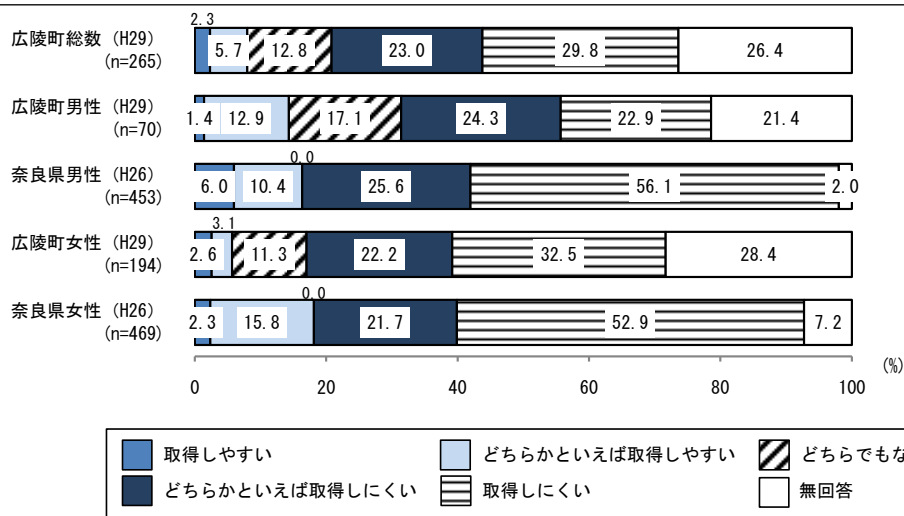
※奈良県の調査項目には「家事や子育てのため」「定年退職したため」「学生であるため」

「休職中のため」に該当する項目がないため比較していない。

問 17 あなたの職場は、男性が育児休業を取得しやすい職場環境ですか。(〇はひとつ)

※奈良県との比較

- ・広陵町全体では『取得しにくい』(「どちらかといえば取得しにくい」「取得しにくい」の割合の合計)の割合が最も高く5割を超えている。
- ・性別で見ると広陵町内では、女性、男性ともに『取得しにくい』の割合が最も高く、その割合は女性の方が男性と比較して7.5ポイント高い。さらに「取得しにくい」の割合で見ると、女性の方が男性と比較して9.6ポイント高く、男性本人を感じるよりも、女性の方が男性の育児休業はまだまだ取得しにくい職場環境にあると感じていることがうかがえる。一方奈良県では『取得しにくい』『取得しにくい』のいずれも、男性の割合の方が高くなっている。



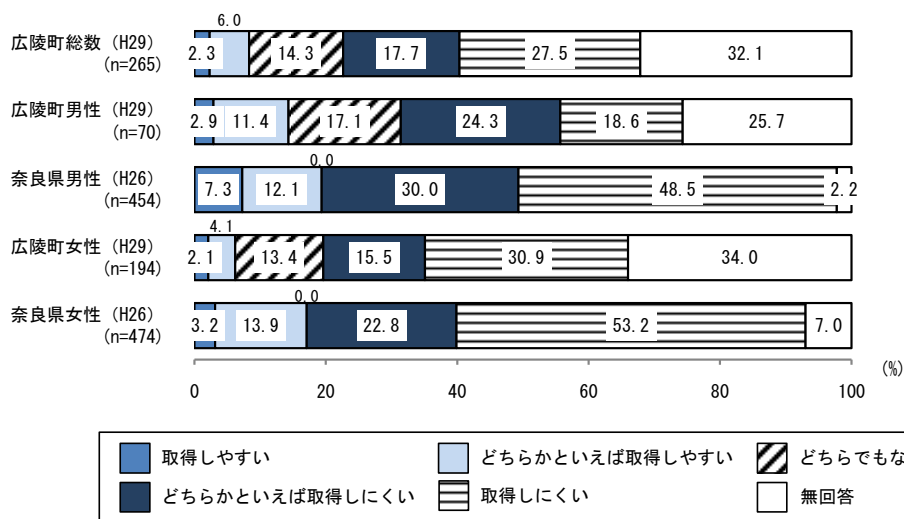
※奈良県の調査項目には「どちらでもない」に該当する項目がないため比較していない。

※奈良県の調査項目には上記項目以外に「その他」が含まれるが本比較については広陵町の質問項目に「その他」がないため、調査数から「その他」の回答を抜いたうえで割合を算出した。

問 18 あなたの職場は、男性が介護休業を取得しやすい職場環境ですか。(〇はひとつ)

※奈良県との比較

- ・広陵町全体では『取得しにくい』(「どちらかといえば取得しにくい」「取得しにくい」の割合の合計)の割合が最も高くなっている。
- ・性別で見ると広陵町内では、女性、男性ともに『取得しにくい』の割合が最も高く、その割合は女性の方が男性と比較して3.5ポイント高い。さらに「取得しにくい」の割合で見ると、女性の方が男性と比較して12.3ポイント高く、男性本人が感じるよりも、女性の方が男性の介護休業はまだまだ取得しにくい職場環境にあると感じていることがうかがえる。一方奈良県の結果では『取得しにくい』の男性の割合の方が高くなっている。



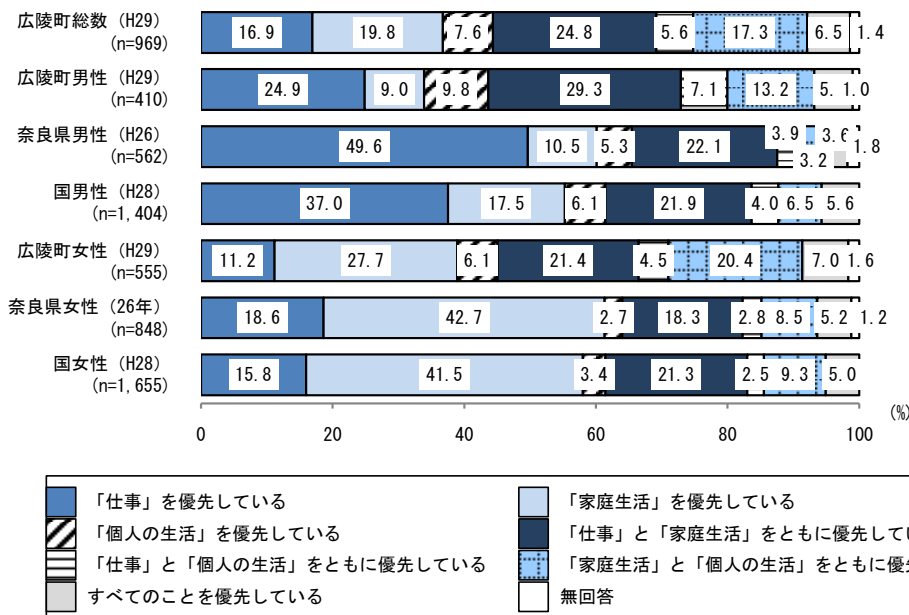
※奈良県の調査項目には「どちらでもない」に該当する項目がないため比較していない。

※奈良県の調査項目には上記項目以外に「その他」が含まれるが本比較については広陵町の質問項目に「その他」がないため、調査数から「その他」の回答を抜いたうえで割合を算出した。

問 20 あなたは、現在の生活の中で「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活（学習・趣味・付き合い等）」のどれを優先していますか。（〇はひとつ）

※奈良県・国との比較

- ・広陵町全体では「仕事」と「家庭生活」をともに優先しているの割合が最も高くなっている。
- ・性別で見ると広陵町内では、女性は男性に比べて「家庭生活」を優先しているの割合が高く、18.7ポイント差と他の選択肢と比較して、その差も最大となっている。国や奈良県と比較すると、男性では「仕事」を優先しているの割合は低く、男性、女性ともに、広陵町では「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先しているの割合が国や奈良県と比較して高く、男女ともに「家庭生活」とともに「個人の生活」も大切にしていることがうかがえる。
- ・「家庭生活」と「個人の生活」を優先している、という回答が多くなった理由としては回答者の内訳が既に仕事を退職したと考えられる世代が多く、仕事を退職し、個人の時間を尊重したい、もしくは家族との時間を尊重したい、と考える人が多かったからではないかと考えられる。

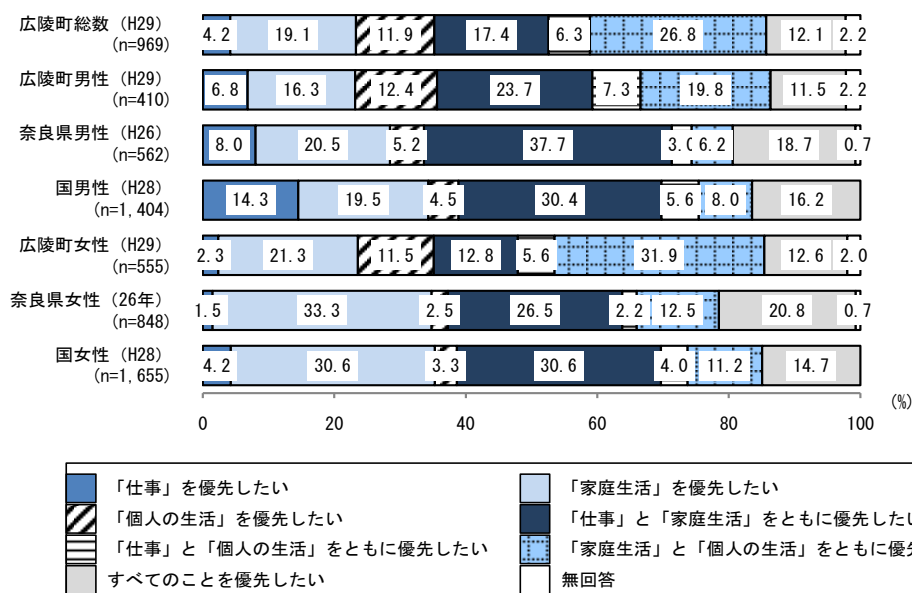


※国の調査項目の「地域・個人の生活」を「個人の生活」として比較している。

問 21 あなたは、現在の生活の中で「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活（学習・趣味・付き合い等）」のどれを優先したいと希望しますか。（〇はひとつ）

※奈良県・国との比較

- ・広陵町全体では「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先したいの割合が最も高くなっている。性別で見ると広陵町内では、女性は男性に比べて「家庭生活」と「個人の生活」を優先したいの割合が高く、12.1ポイント差と他の選択肢と比較して、その差も最大となっている。国や奈良県と比較すると、男性では「仕事」を優先したいの割合は低く、男性、女性ともに、広陵町では「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先したいの割合が国や奈良県と比較して高く、特に広陵町女性では「家庭生活」とともに「個人の生活」を大切にしたいと考えていることがうかがえる。
- ・「家庭生活」と「個人の生活」を優先している、という回答が多くなった理由としては回答者の内訳が既に仕事を退職したと考えられる世代が多く、仕事を退職し、個人の時間を尊重したい、もしくは家族との時間を尊重したい、と考える人が多かったからではないかと考えられる。
- ・また、広陵町全体では「個人の生活」を優先したいと回答した割合も国や県と比較して高くなっている。これは「家庭生活＝子育て」と考えると子育てが終了し、仕事も退職した世代（60代以上）の回答が多いことから「個人の生活」を優先したいと考える人が国や県よりも多くいるのではないかと考える。
- ・理想と現実のギャップ（現実よりも理想の割合の方が高く、その差）という視点でみると、広陵町男性では「家庭生活」を優先したい、広陵町女性では「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先したいのギャップが最も大きくなっている。



※国の調査項目の「地域・個人の生活」を「個人の生活」として比較している。

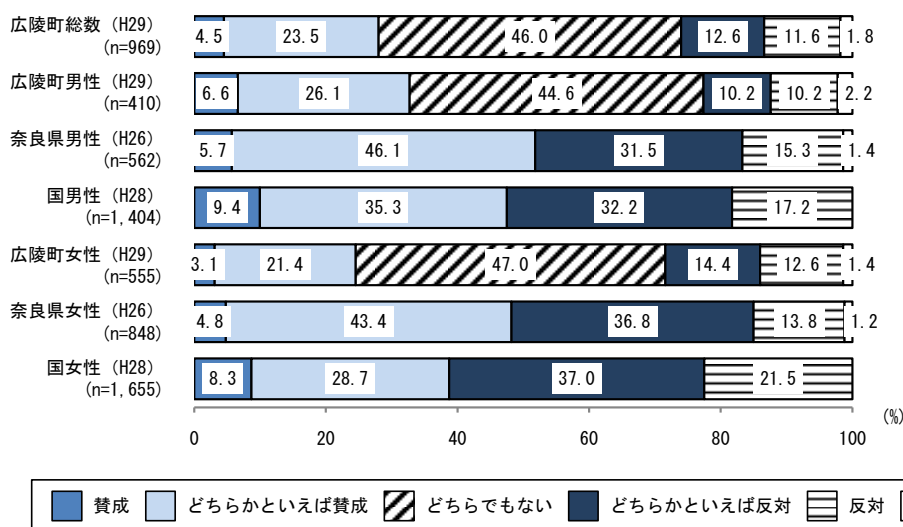
※国の調査項目には上記項目以外に「その他」が含まれる。

(2) 男女共同参画に関する意識について

問 29 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどのように
 思いますか。(〇はひとつ)

※奈良県・国との比較

- ・広陵町全体では「どちらでもない」の割合が最も高く、『賛成』（「賛成」「どちらかといえば賛成」の割合の合計）の割合が 28.0%、『反対』（「反対」「どちらかといえば反対」の割合の合計）の割合が 24.2%と、どちらかという固定的性別役割分担に対して比較的肯定的な考えを持っていることがうかがえる。
- ・性別で見ると広陵町内では、男女ともに「どちらでもない」の割合が最も高いが、男性では女性と比較して『賛成』の割合が、女性では男性と比較して『反対』の割合がそれぞれ高くなっている。しかし、広陵町女性では『賛成』24.5%、『反対』27.0%と『反対』の割合が『賛成』と比較してとても高いというわけではない。



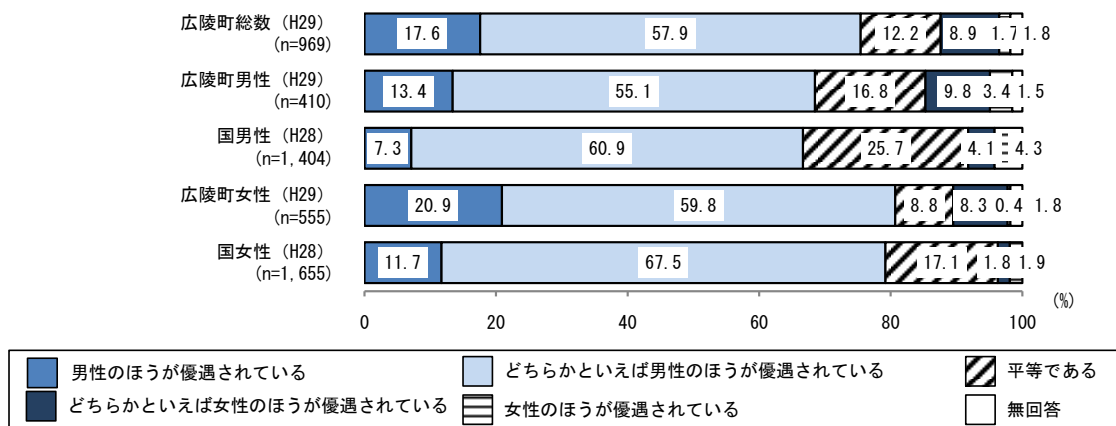
※国の調査項目には上記項目以外に「その他」が含まれる。

※国・奈良県の調査項目には「どちらでもない」が選択肢にないため比較していない。

問 31 あなたは社会全体を見た場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。
 (○はひとつ)

※国との比較

- ・広陵町全体では『男性の方が優遇されている』（「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合の合計）の割合が最も高くなっている。
- ・性別で見ると広陵町内、国ともに女性の方が男性と比較して『男性の方が優遇されている』の割合が高くなっている。「平等である」の割合では男女ともに、国よりも広陵町の割合の方が8ポイント以上低くなっている。



問 32 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

①から⑦のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。

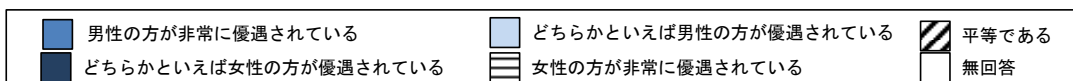
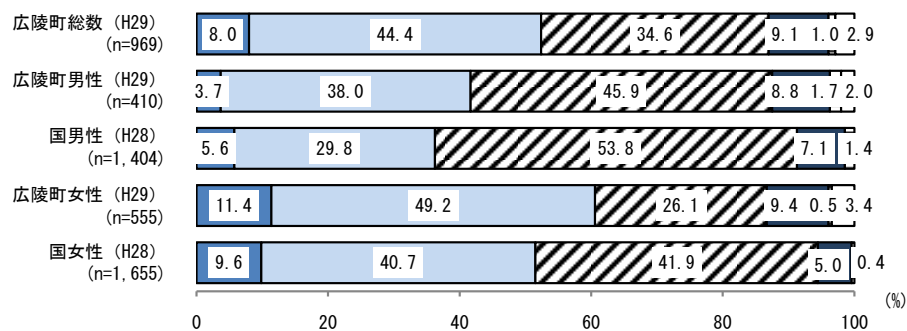
(各項目○はひとつ)

※国との比較で、国の調査項目には選択項目に「その他」が含まれる。

①家庭生活

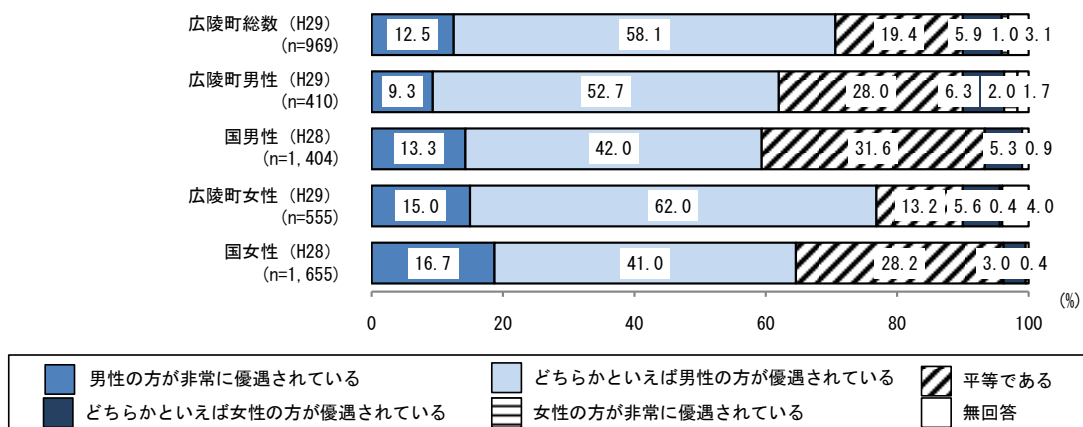
・広陵町全体では『男性の方が優遇されている』（「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合の合計）の割合が最も高くなっている。

・性別で見ると広陵町内、国ともに男性では「平等である」の割合が最も高くなっている。一方女性では『男性の方が優遇されている』の割合が最も高く、広陵町内、国ともに女性の方が男性と比較してその割合は高くなっている。「平等である」の割合では、広陵町女性において、広陵町男性、国の男女と比較して特に低くなっている。



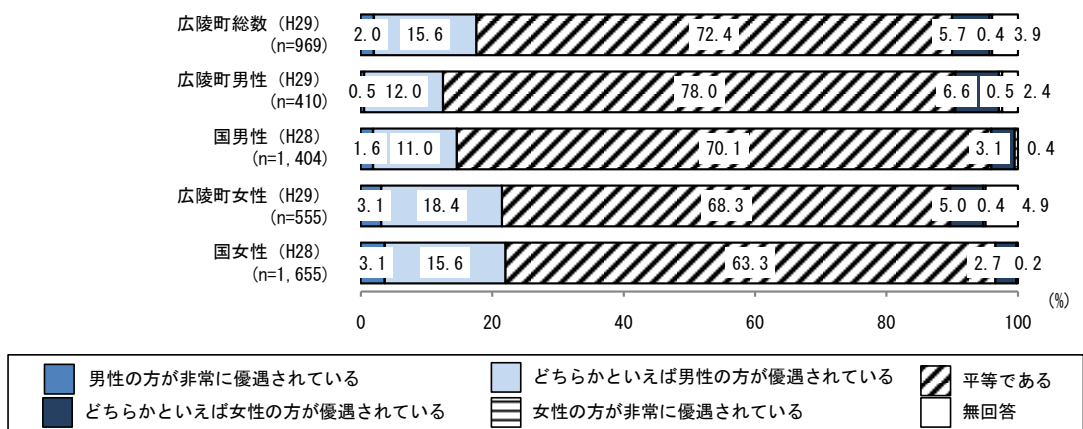
②職場

- ・広陵町全体では『男性の方が優遇されている』（「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合の合計）の割合が最も高くなっている。
- ・性別で見ると広陵町内、国の男女ともに『男性の方が優遇されている』の割合が最も高く、広陵町内、国ともに女性の方が男性と比較してその割合は高く、特に広陵町女性でその割合は高くなっている。



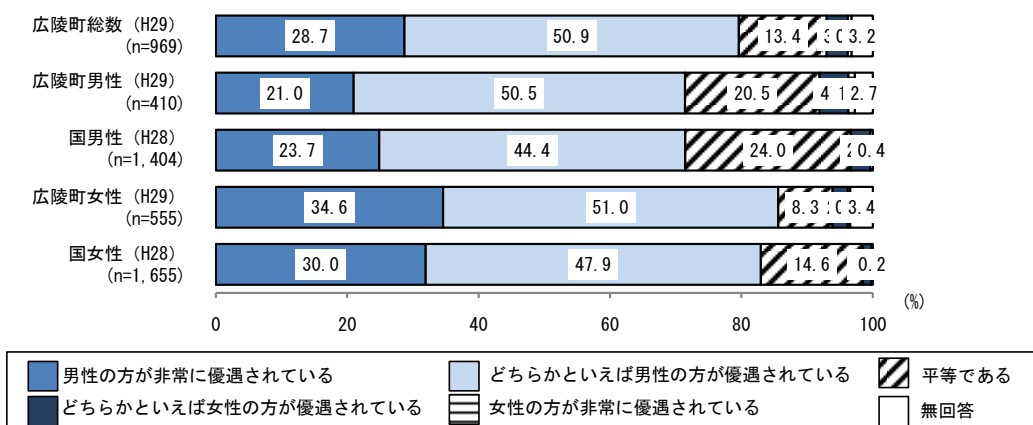
③学校教育の場

- ・広陵町全体では「平等である」の割合が最も高くなっている。
- ・性別で見ると広陵町内、国の男女ともに「平等である」の割合が最も高くなっているが、広陵町、国ともに女性の方が男性と比較して『男性の方が優遇されている』の割合が高くなっている。



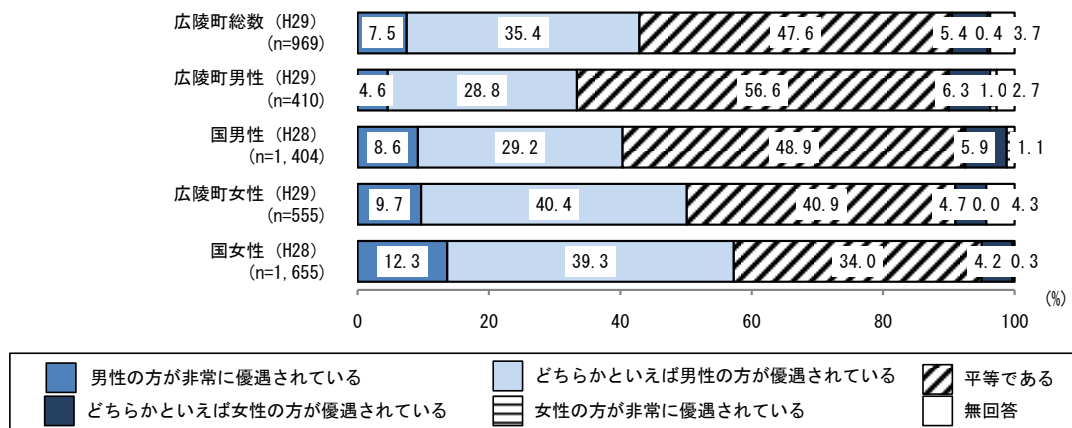
④政治の場

- ・広陵町全体では『男性の方が優遇されている』（「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合の合計）の割合が最も高くなっている。
- ・性別で見ると広陵町内、国の男女ともに『男性の方が優遇されている』の割合が最も高く、広陵町内、国ともに女性の方が男性と比較してその割合は高く、特に広陵町女性でその割合は高くなっている。



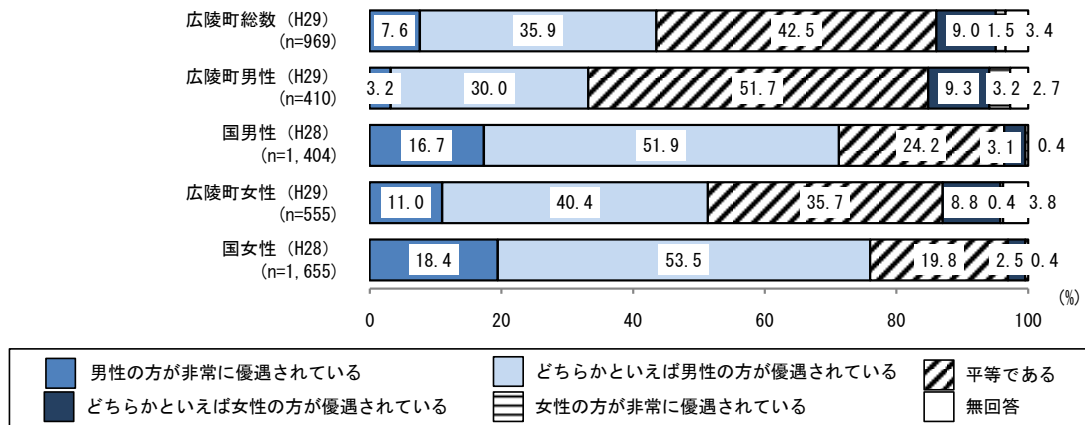
⑤地域活動の場

- ・広陵町全体では「平等である」の割合が最も高くなっている。
- ・性別で見ると広陵町内、国ともに男性では「平等である」の割合が最も高くなっている。一方女性では『男性の方が優遇されている』の割合が最も高く、広陵町内、国ともに女性の方が男性と比較してその割合は高くなっている。「平等である」の割合では、広陵町男性において、広陵町女性、国の男女と比較して高くなっている。



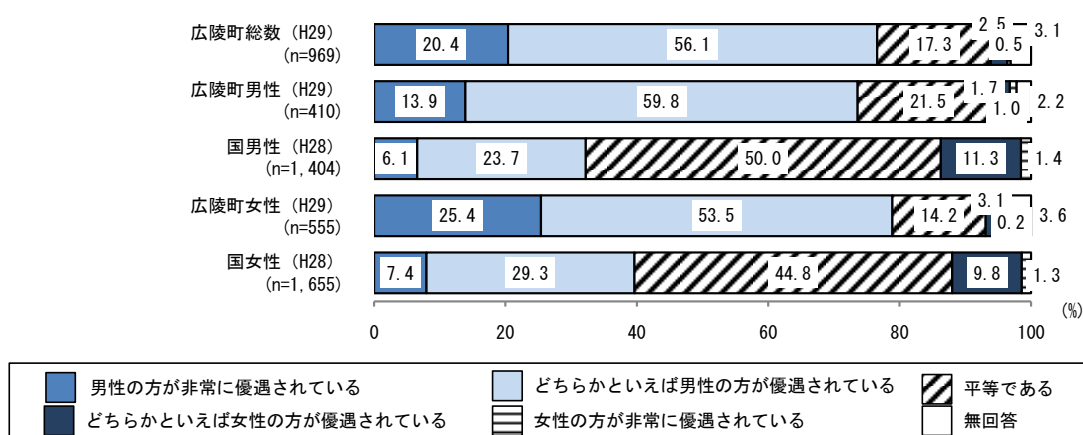
⑥法律や制度上

- 広陵町全体では『男性の方が優遇されている』（「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合の合計）の割合が最も高くなっている。
- 性別で見ると広陵町男性では「平等である」、それ以外では『男性の方が優遇されている』の割合が最も高いが、国の男女と比較して広陵町女性の『男性の方が優遇されている』の割合は低くなっている。「平等である」の割合では広陵町内の男女では差が16ポイントと大きくなっている。



⑦社会通念・習慣・しきたり等

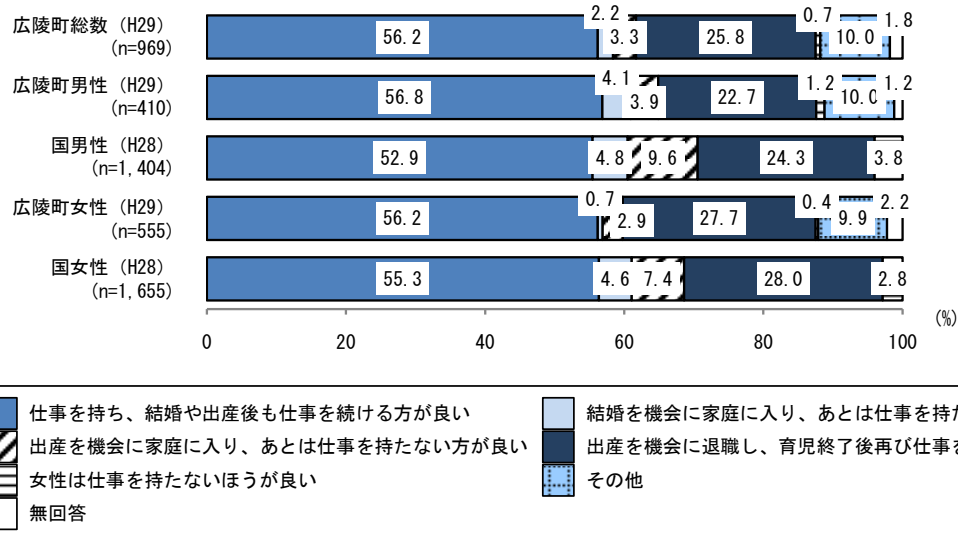
- ・広陵町全体では『男性の方が優遇されている』（「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合の合計）の割合が最も高くなっている。
- ・性別で見ると広陵町男女では『男性の方が優遇されている』の割合が最も高いが、国では「平等である」の割合が最も高くなっている。社会通念・習慣・しきたり等の捉え方が、国の調査では大きな概念として捉えられ、広陵町調査ではより身近な地域、家庭生活のなかでの概念として捉えられていることが影響しているものと考えられ、広陵町内ではこれらの社会通念・習慣・しきたり等においては男女ともに『男性の方が優遇されている』と強く感じていることがうかがえる。



問 36 あなたは、女性が仕事を持つことについてどのようにお考えですか。(○はひとつ)

※国との比較

・広陵町全体では「仕事を持ち、結婚や出産後も仕事を続ける方が良い」の割合が最も高くなっている。



※国の調査項目に「その他」「無回答」がないため比較していない。

問 41 今後、男性が女性とともに、子育て、介護に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

※国・奈良県との比較

・性別で見ると広陵町ならびに奈良県の男性と、国の男女では「夫婦や家族間のコミュニケーションをはかる」の割合が最も高くなっている。広陵町と奈良県の女性では「男性が家事等に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」の割合が6割を超え最も高く、専業主婦率が高いと言われる県下の特徴の一つの表れなのかもしれない。

	調査数	身 の 抵 抗 感 を な く す	男 性 が 家 事 等 に 参 加 す	抵 抗 感 を な く す	男 性 が 家 事 等 に 参 加 す	ニ ケ ー シ ョ ン を は か る	夫 婦 や 家 族 間 の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を は か る	尊 重 す る	夫 婦 の 役 割 分 担 等 に つ い て 考 え 方 を 考 え る	評 価 を 高 め る	男 性 が 参 加 す る こ と に 対 し て 社 会 中 で の に 関 心 を も つ て 参 加 す る	は か ら な い	事 業 外 の 普 通 の 時 間 の よ び に 休 暇 を 取 る	制 度 の 短 縮 や 休 暇 の 取 り 易 い 制 度 の 取 り 易 い	報 告 提 供 を 行 う	高 め る 等 の 啓 蒙 や 心 を 開 く	
広陵町 男性 (H29)	410 100.0	200 48.8	56 13.7	222 54.1	161 39.3	135 32.9	189 46.1	69 16.8									
奈良県 男性 (H26)	562 100.0	277 49.3	108 19.2	300 53.4			129 23.0	76 13.5									
国 男性 (H28)	1,404 100.0	748 53.3	395 28.1	793 56.5			710 50.6	341 24.3									
広陵町 女性 (H29)	555 100.0	344 62.0	102 18.4	325 58.6	208 37.5	264 47.6	224 40.4	135 24.3									
奈良県 女性 (H26)	848 100.0	563 66.4	142 16.7	510 60.1			240 28.3	133 15.7									
国 女性 (H28)	1,655 100.0	882 53.3	465 28.1	935 56.5			740 44.7	386 23.3									
	調査数	能 り 研 修 や 講 座 の 開 催 等 に よ り 研 究 の 進 捗 を 促 す	仲 間 性 づ の 情 報 交 換 の 場 や	口 を 設 け る 場 や	男 性 が 相 談 し や す い 窓	そ の 他	特 に 必 要 な こ と は な い	わ か ら な い	無 回 答								
広陵町 男性 (H29)	410 100.0	66 16.1	53 12.9	48 11.7	13 3.2	7 1.7	13 3.2	8 2.0									
奈良県 男性 (H26)	562 100.0	94 16.7	100 17.8	28 5.0	10 1.8												
国 男性 (H28)	1,404 100.0		380 27.1		15 1.1												
広陵町 女性 (H29)	555 100.0	91 16.4	98 17.7	82 14.8	14 2.5	3 0.5	15 2.7	13 2.3									
奈良県 女性 (H26)	848 100.0	145 17.1	179 21.1	13 1.5	4 0.5												
国 女性 (H28)	1,655 100.0		399 24.1		13 0.8												

問 44 あなたは、今後「男女共同参画社会」を実現するために、行政がどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

※国・奈良県との比較

・性別で見ると広陵町内では、男性では「保育サービスの充実」、女性では「子育て中や介護中であっても仕事が続けられるような支援」の割合が最も高くなっているが上位3項目は変わらない。

	調査数	法律や制度の見直し	定審議の場 な登用 に委員等、 女性を積 極的決	む理民 よ職間 うに企 支女業 援性や の登団 積用等 的管	相 談 の 場 の 提 供	保 育 サ ー ビ ス の 充 実	介 護 サ ー ビ ス の 充 実	学 習 機 会 の 充 実 に 関 する
広陵町 男性 (H29)	410 100.0	142 34.6	112 27.3	108 26.3	83 20.2	232 56.6	212 51.7	93 22.7
奈良県 男性 (H26)	562 100.0	168 29.9	163 29.0	165 29.4	94 16.7			77 13.7
国 男性 (H28)	1,404 100.0	644 45.9	577 41.1	609 43.4	364 25.9			380 27.1
広陵町 女性 (H29)	555 100.0	181 32.6	155 27.9	141 25.4	115 20.7	345 62.2	323 58.2	108 19.5
奈良県 女性 (H26)	848 100.0	244 28.8	242 28.5	232 27.4	153 18.0			106 12.5
国 女性 (H28)	1,655 100.0	674 40.7	660 39.9	659 39.8	379 22.9			410 24.8
	調査数	し勤勞 務働時 等、間 の短縮 や見 在直宅	れあ子 つ育て るよも う中 な仕や 支事介 援が護 続中 けら	再た子 就ん育 職仕て の事や 支を介 援辞護 め等 たで 人い のつ	P男 R女 や共 同参 画に 関す る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
広陵町 男性 (H29)	410 100.0	178 43.4	214 52.2	203 49.5	81 19.8	8 2.0	14 3.4	8 2.0
奈良県 男性 (H26)	562 100.0	225 40.0	320 56.9	276 49.1	76 13.5	11 1.3		
国 男性 (H28)	1,404 100.0	614 43.7	781 55.6	762 54.3	284 20.2	7 0.5		
広陵町 女性 (H29)	555 100.0	248 44.7	349 62.9	314 56.6	89 16.0	10 1.8	21 3.8	10 1.8
奈良県 女性 (H26)	848 100.0	393 46.3	531 63.6	493 58.1	103 12.1	19 3.4		
国 女性 (H28)	1,655 100.0	770 46.5	1,033 62.4	975 58.9	275 16.6	3 0.2		